

官報

號外

明治二十九年三月十二日

木曜日 內閣官報局

○第九回 貴族院議事速記録第三十三號

帝國議會 明治二十九年三月十一日(水曜日)午前十一時十分開議

議事日程 第三十三號 明治二十九年三月十一日

午前十時開議

- 第一 害蟲驅除豫防法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
- 第二 市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特例廢止法律案(衆議院提出) 第一讀會(前會ノ續)
- 第三 市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
- 第四 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第六 集會及政社法中刪除法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第八 官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則法律案(本院提出、衆議院回付) 會 議

○副議長(侯爵黑田長成君) 昨十日本院ニ於テ可決ニ爲リマシタル市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案、公立學校職員退隱料等ニ關スル法律案、此政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知致シマシテゴザイマス、同日本院ニ於テ否決ニ爲リマシタル政府提出新聞紙法案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ更ニ廟議ヲ盡サレンコトヲ奉請シ及否決ノ旨ヲ衆議院ニ通知致シマシテゴザイマス、同日衆議院ヨリ牛馬賣買免許稅規則其ノ他廢止法律案、烟草稅則中改正法律案、醬油稅則中改正法律案、此政府提出案ヲ受領致シマシテゴザイマス、次ニ昨日本席ヘ御委託ニナリマシタル地方學事通則中改正法律案ノ特別委員ヲ選定致シマシタルニ依ッテ其氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

地方學事通則中改正法律案特別委員

侯爵細川 護成君 伯爵上杉 茂憲君 子爵大久保忠順君

辻 新次君 男爵千家 尊福君 男爵渡邊 清君

藤村 紫朗君 山 脇 玄君 澤原 爲綱君

○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ議事日程ニ移リマス第一、害蟲驅除豫防法案、

政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

(田中芳男君演壇ニ登ル)

○田中芳男君 本日ハ委員長松平康莊君ハ御缺席デゴザンスルカラ本員ガ代リマシテ此委員會ノ經過ヲ報告致サウト考ヘマス、此案ハ過日付託ニナリマシテ委員會ヲ開キマシテソレノ逐條ノ質問等モアリマシタケレドモ到底此案ト云フモノハ目下必要ノモノデアッテ彼是修正等ヲ加ヘマスルニ及バズ政府案ノ通全會一致ヲ以テ可決致シマシタ譯デゴザイマス、併ナガラ其中ニ質問ヲ致シタ箇條ノ中テ少シ一應陳ベテ置カヌケレバナラヌ事ガゴザンスルカラシテソレヲ一言御話致シマス、此第二條ノ一項ニゴザイマス通蟲ノ種類ハ地方デ極メマシテソレデ農商務大臣ノ認可ヲ經テヤルト云フノテ殆ド害蟲ノ種類ハ地方任セノヤウニ見エマス、是デハ地方デハソレノ蟲ノ研究ガ出來テ居ル處モ有リ出來テ居ラヌ處モ有ッテ見マスルト伺ヲ立テ、參ッタ所ガ區々ノ伺デ之ヲ許可スルニハ標準ニ差支ヘルコトデアルカラシテ必ズ此等ニ就イテハ農商務大臣カラ豫メ害蟲ノ種類ハ斯クミ其驅除ト云フモノハ凡ソ斯様ナモノト云フヤウナモノハ何ゾ訓令デア出來マセネバ連モ地方ニ於テ標準トスル所ノモノガアラマイカラシテ是非トモ其邊ノコトヲ御出シニナルコトデアアラウト思フ、就イテハ農商務省ニ於キマシテハ從前ノ如クニ農事試驗場ノ片手間デ害蟲ノ研究ヲ居マシタ所ガ到底ハ片手間仕事デハ十分ナ事ハ出來ヌコトハ能ク分ッテ居リマスカラシテ此法律ガ發布ニナツタ以上ハ益、此害蟲ノ研究ト云フモノハ專門ニヤル運ビニナラネバ到底此事業ガゾウツト發達シテ參ル譯ニ往クコトハ出來マイト考ヘマス、其邊ヲ政府委員ニ質問シタ所ガ從前ノ如ク片手間ニシテハ置カヌ是カラ追々專門家ヲ入レテ其方ニ十分身ヲ入レテヤル積デアアルカラ研究等ノ事ハ十分ニ出來ルト云フコトデアリマシタ、若シ然ラズシテ從前ノ如ク片手間デアアル以上ハ地方官カラシテ質問ガ來マシテモ十分ナ答ヲスル譯ニモ參リマスマイ、又コチラカラレテソレノ種類驅除法等ヲ訓令スル譯ニモ往キマセヌカラシテ是非トモサウアリタイト云フコトヲ陳ベマシタ結果政府委員ノ方デハ是カラ十分ニヤルト云フ御話デゴザイマスルカラシテソレ故然ラバ是デモ一ハイ何モ仔細アラマイト斯ウ云フコトデゴザイマシテ終ニ原案通即チ衆議院カラ迴ッテ來マシタ通一字ノ修正モ無ク可決致シマシテゴザイマス、就キマシテハ此案ト云フモノハ最早何モ一字一撇ノ修正モ無ク全會一致ヲ以テ可決シタ以上ハ

滿場諸君ニ於テモ別ニ御異議ガナイコト、考ヘマスルガ果シテ御異議ガゴザイマセバ讀會省略ノコトニ致シテ此案ヲ速ニ通過センコトヲ希望致シマスル起立ノ序ニ讀會省略ノ動議ヲ呈シ置キマスルカラシテ何卒御賛成ノアリマスルヤウニ……

○山田卓介君 讀會省略ニ賛成

○子爵小笠原壽長君 讀會省略ニ賛成

○柴原和君 讀會省略ニ賛成

○水之江浩君 本員ハ政府委員ニ質問ガアリマス、此法案ハ農作物ヲ害スル種類ト云フコトハ固ヨリ覺悟致シテ居リマスガ第一村田君ヨリノ質問ニ對シテ政府委員モ山林ニハ關係ガナイト云フ御答ガゴザイマシタ、ソレデ第四條ノ田畑以外ト云フコトハ山林マデヲ含ムモノデアリマスカ御尋致シマス、全體山間ハ田畑ト至ッテ山林ニ密接致シテ居リマスルヤウナ處モ往々有リマス、然ルニ山林ニ害蟲ガ發シマシテ自然田畑ニ蔓延スルト云フ徵候ガアリマシテモ山林バカリヲ豫防スルコトハ出來マセヌデゴザイマスカ

○政府委員(藤田四郎君) 此田畑以外ニ生ジマシタモノデモ害蟲ガ田畑ニ及ブベキモノデゴザイマスレバ此四條ニ依リマシテ豫防スルコトガ出來マス

○水之江浩君 然ラバ以外ニシマスレバ山林マデ出來マスルト云フコトデゴザイマスカ

○政府委員(藤田四郎君) 左様

(侯爵醍醐忠順君演壇ニ登ル)

○侯爵醍醐忠順君 本員ハ此害蟲驅除法案ヲ賛成ヲ致シマスル意見デゴザイマス、併シ惜ムラクハ害蟲撲滅法ガ少シシデハ完全デナカラウト斯ウ申ス考デゴザイマス、明治二十九年ノ今日御發布ニナル法文ナレバ何卒今少シ完全ニアリタイ、併シ完全ニアリタイト申シテ外各條ニ少シモ意見ハゴザイマセヌ、唯害蟲ヲ撲滅スル方法ヲ何トカモウ少シ御盡シニアリタイト云フ斯ウ云フ意見、各條ニ涉ッテ行ッテ一讀會ニ申述ベルコトデハナイカノヤウニアリハ致シマスルモンノ本員ノ蓄ヘテ居リマスル意見ハ第二條ニ八字許リ加ヘタイト思ヒマス、何レ第二讀會ノ時ニ申サヌナラヌコト、ハ存ジマスルケレドモ先ヅ其驅除法ガ此法案ノ眼目ト存ジマスルニ依ッテソレ故ニ一讀會ニ於キマシテ聊カ我意見ヲ述ベテ置キマスル次第デアリマス、是ハオカシイ、各條ニ涉ッテ唯今申スベキ譯デハゴザイマセヌケレドモ八字許リ加ヘタイト申ス意見ハ「第二條驅除豫防スヘキ害蟲ノ種類及驅除ノ方法ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム」ト農商務大臣ノ認可ヲ經テトバカリゴザイマス、本員ノ考デハ「農商務大臣ノ『訓令ヲ請求シ又ハ』認可ヲ經テ」ト云フ八字ガ加ヘタイト斯ウ申ス、其趣意ハ何卒田畑其他害蟲ノ起リマシタ時ニハ農商務

省ニ其撲滅方ヲ伺出デ其訓令ヲ受ケテ施行シ又ハ其村內デ撲滅ノ出來ル見込ノアル時ハ府縣知事カラ認可ヲバ經テト斯ウ申ス次第デ、其伺出ガ出來ル所ノ文字ヲ入レタイト云フ斯ウ云フノガ趣意デゴザイマス、又農商務省ナレバ平生ニ害蟲ノ撲滅方ガ十分ニ御研究ガ出來テ備ハリサウナモンデヤト斯ウ申スノデ、實ハ此蟲ト云フモンハ其蟲ノ性ニ依ッテ同ジ一ノ藥デモ一寸キクモント、トットキカヌモント有ル、ソナ時ニハ究理書モ要リ又ハ化學書モ要リ又ハ含密學モ要リ又ハ博物學モ要リ又ハ藥物學モ要ルト云フヤウナコトニナラウカト考ヘル、然ル所ガ府縣知事、ソレハ然ルベク御研究ノ知事モ時ニ取ッテハ有リマセウガドウモウコマデノ御研究モ平生ニ御備ヘニナルコトモドウモ覺束ナイト存ジマス、故ニ農商務省デ平生ニ御研究、御備ガ立ッテ又ハ其考ノ至ラナイヤウナ時ニハ農商務省カラ添書デモシテデモ衆議ニ御尋ニアリタイト云フヤウナ譯、ソレ故ニ左様ナ場合ニハドウカ各府縣知事カラ伺出テ間違ノ無イ驅除法ノ訓令ヲ求メタイ、請ヒタイト斯ウアリタイ、是デハ唯ガドウモ少シ不完全ト斯ウ存ジマス、又一ツニハ其村ノ田畑害蟲ノ時ニ驅除法ニ我輩等皆見ナル者デ廣クハ存ジマセヌガ色々此蟲送り杯ニハ舊慣ガゴザイマシテ或ハ鐘ヲ敲キ大鼓ヲ打ッタリシテ大勢人ガ寄ッテ火ヲ燈シタリシテ又御經ヲ讀シタリスルト云フヤウナ事ガ往々無イデモアルマイト存ジマス、左様ナ事ハ唯難費等ガ要ルノミニシテ其實害蟲ヲ撲滅スル效ハ我輩等ハ甚ダ覺束ナイト存ジマス、然ルニ其割附入用等ハ皆村民ノ頭ニモ掛ッテ來ウガ其實際甚ダ氣ノ毒ナ憐ムベキ次第、實ニ害蟲ニ匹敵スル藥品デモ注ケルトカ申ス事ナラバ其入費ガ嵩シデモ致方ガナイ、無用ナ事ニ人夫ヲ取ッテ色々物要リヲ掛ケテ村民ノ迷惑ヲ被ルト云フヤウナ事ハ大イニ憐ムベキ事ト考ヘマス其方法如何ハ我輩等少シモ存ジマセヌ、何卒平生農商務省ニ斯ウ云フ蟲ハ斯ウ云フモンナレバ必ズキクト云フコトヲ御調ニナッテアリタイト斯ウ申ス、我輩等例ヘテ申シマスルニ庭ニ一本梅ノ樹ガ有ル、ソレニ毛蟲カ湧キマシテ、モ甚ダ防キ方ニ困難スル、又蟲ヲ殺スト植物ニ矢張害ガアルト云フヤウナ譯唯僅ニ梅ノ樹ニ附ク蟲デスラモ撲滅ニ困難スル譯、況ヤ大切ナル穀、田畑ノナント申スモノハ甚ダ要用ト考ヘマス、故ニ繰返シテ申スヤウデモゴザイマスガ平生ニ農商務省ニ其方法ヲ御研究アッテマサカサウ云フ時ニハ下カラ伺出テ其訓令ヲ下シ又ハ急場トカナンノ時ニハ其府縣ノ知事カラ此方面ノ通ニ認可ヲ經テナンスル、唯伺出デ訓令ヲ受ケルト云フノ一點ダケヲ我輩ハ希望致シマスル譯デ、併シ法律ノ修正ト申スモノハ定規ノ賛成モ要ル譯、ナカナカ我輩等ノ二十名以上ノ賛成ハ到底得ラレハ致シマスマイガ萬一御同感ノ諸君モ有レバ定規ノ賛成ノ御賛成ヲ希望致シマスル譯デゴザイマス

○壁江史郎君 私ハ田中芳男君ノ讀會省略ノ動議ニ賛成ヲ致シマス

其ノ費用ノ徴收ニ關シテハ市制第百二條及町村制第百二條ヲ適用ス

○飯淵七三郎君 讀會省略ニ賛成

第四條 害蟲蔓延シタルトキ又ハ蔓延ノ兆アルトキ若クハ害蟲田畑以外ノ地ニ發生シタルトキ又ハ發生ノ虞アルトキハ府縣知事ハ市町村費ヲ以テ驅除豫防ヲ行フコトヲ得

○三宅秀君 本員モ讀會省略ニ賛成ヲ致スノデアリマスガ、唯今醍醐侯爵カラ御心配ノゴザイマシタ箇條ハ先刻副委員長ノ田中君カラモ縷々述ベラレマシテ本員等モ矢張委員デゴザイマシテ委員會ニ於キマシテ種々質問ヲ致シテサウシテ其實問ヲ致シマシタ箇條ハ唯今醍醐侯爵カラ御心配ニナリマシタ如キ訓令ナリ或ハ省令ナリノヤウナモノガ此外ニ出マスル答デアリマス、其中ニ本員等ノ心配致シマシタ事柄ガ皆這入ッテ出ル答ノ約束デ實ハ條件附ト申シテハ惡イカ知レマセヌガ殆ド條件附ノ有様デ、原案ニ缺ケル所ハ先ヅゴザイマセヌ積デアリマシテ賛成致シマシタノデアリマスカラ、ドウゾ醍醐侯爵ニ於キマシテモ右ノ御心配ナク原案ヲ御賛成下スッテ讀會ヲ省略シテ速ニ可決セラレンコトヲ望ミマス

第五條 府縣知事ハ前條ノ驅除豫防ノ爲ニ市町村ニ命シテ夫役ヲ市町村全部又ハ一部ノ田畑ノ作人及所有者ニ賦課セシムルコトヲ得

○伯爵小笠原忠忱君 讀會省略ニ賛成

夫役ハ害蟲ノ種類ニ依リテ田又ハ畑ニ區別シテ賦課スルコトヲ得

○關田可通君 讀會省略ニ賛成

夫役ノ賦課ハ反別又ハ地價ヲ以テ標準ト爲スヘシ

○伯爵大原重朝君 讀會省略ニ賛成

本條ノ場合ニ於テハ市制第百二十三條及町村制第百二十七條ヲ適用セ

○吉村角次郎君 讀會省略ニ賛成

第六條 府縣知事ハ驅除豫防ノ爲メ必要アルトキハ市町村費ヲ以テ溝渠ヲ設ケ又ハ農作物、藁、刈株、雜草ヲ拔棄若クハ燒棄スルコトヲ得

○男爵渡邊清君 讀會省略ニ賛成

第七條 驅除豫防ノ必要ヨリ生シタル損害ニ對シ被害者ハ賠償ヲ要求スルコトヲ得

○子爵秋田映季君 讀會省略ニ賛成

第八條 土地所有者、管理者又ハ使用者ハ官吏及其ノ指揮ヲ承クル者ノ其ノ地ニ入り驅除豫防ニ從事スルヲ拒ムコトヲ得

○副議長(侯爵黑田長成君) 田中君カラ讀會省略ノ動議ガ出マシテ定規ノ贊成者ガゴザリマス、此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

第九條 府縣知事又ハ郡長ハ必要ナル場合ニ於テハ府縣稅(地方稅)又ハ郡費ヲ以テ第三條第四條第六條ノ費用ヲ補助シ若クハ驅除豫防ニ必要ナル器具ヲ給與シ又ハ貸與スルコトヲ得

○副議長(侯爵黑田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ノ順序ヲ省略致シマス

第十條 蟲類以外ノ動物ト雖農作物ヲ害スルトキ又ハ害スルノ虞アルトキハ府縣知事ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ此ノ法律ヲ適用スルコトヲ得

害蟲驅除豫防法

第一條 此ノ法律ニ於テ害蟲ト稱スルハ農作物ヲ害スル各種ノ蟲類ヲ謂フ

第十一條 第三條ノ場合ニ於テ府縣知事ノ命令ニ從ハサル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料又ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第二條 驅除豫防スヘキ害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ府縣知事ノ定ム

第十二條 第六條及第八條ニ依レル官吏若クハ其ノ指揮ヲ承クル者ノ行爲ヲ妨害スル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金又ハ十一日以上二十日以下ノ重禁錮ニ處ス

第三條 害蟲田畑ニ發生シタルトキ又ハ發生ノ虞アルトキハ府縣知事ハ豫メ期限ヲ定メ該田畑ノ作人ヲシテ驅除豫防ヲ行ハシムヘシ

第十三條 此ノ法律ハ北海道、沖繩縣其ノ他市制町村制ヲ施行セサル島嶼ニ之ヲ施行セズ別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

第十四條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○副議長(侯爵黑田長成君) 直ニ決ヲ採リマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

マス、次ニ市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特別廢止法律案、衆議院提出第一讀會、前會ノ續ヲ開キマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 本案ニ就キマシテハ別ニ御發議ハゴザリマセヌカ

○子爵板倉勝達君 昨日ハ不快デ缺席致シマシタガ、モウ是ハ委員長ノ報告ハアツタノデゴザイマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 昨日相濟ミマシテゴザリマス、本案第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 第二讀會ヲ開クベカラズ即チ廢案ニ決シマシタ、次ニ市制中追加法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

(安場保和君演壇ニ登ル)

○安場保和君 本案ハ實ハ此前ニ否決ニ爲リマシタ三都府ノ特別市制廢止法案ト聯帶ヲ持ツタモノデ該案ガ否決ニ爲リマシタ以上ハ實ハ辯明致シマスマデノコトハナイト考ヘマスケレドモ一應是モ併セテ委員會ニ於キマシテハ否決ヲ致シマシタ次第ヲ御報道ニ及ビマス、全體昨日モ委員會ノ經過ヲ御報道致シマシタ通單簡ノ議論デ特別市制ヲ廢止スルト云フ衆議院ノ年々歳々提出ニナリマス次第ハ尤ノ次第デアツテ決シテ理由ノナイ次第デハナイ、併ナガラ又年々歳々出ル所ノ特別市制廢止案ニ伴フテ出ル即チ該案ノ追加案ト申スモノハ誠ニ簡單ノモノデ是マデ一般普通ノ市制ト同様ニ爲シテ此追加案ヲ以テ之ヲ補フト云フニ過ギナイ話デアリマシテ決シテ此三都府ハ……普通市制ト比較ノ出來ナイヤウナ大都府ノ行政ハ決シテ行居カヌト云フ見込ヲ以テ特別市制廢止法案ハ已ムヲ得ズ否決ヲ致シマシタ次第デアリマスレバ從テ此追加案モ同ジク否決ヲシテ孰レ三都府適當ノ成案ガ制定セラル、日ガ有ルデアリマセウカラ其時ヲ俟ツテ是等ノ事モ議定ニナツテ宜シイト云フ趣意デ同ジク是モ否決ニ爲リマシタ次第デアリマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 別ニ御發議ハゴザリマセヌニ依ツテ決ヲ採リマス、本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○副議長(侯爵黒田長成君) 起立者ゴザリマセヌニ依ツテ本案ハ廢案ニ決シマス、次ニ鐵道敷設法中改正法律案衆議院提出第一讀會ヲ開キマス提出文

ノミヲ朗讀致サセマス

(山脇玄君發言ヲ求ム)

一應提出文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

鐵道敷設法中改正法律案

右憲法第三十八條ニ依リ貴院ニ提出候也

明治二十九年三月六日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法中左ノ通改正追加ス

第一章第二條四國線中一項二項ヲ左ノ如ク改ム

一 德島縣下德島ヨリ高知縣下高知愛媛縣下松山ヲ經テ八幡濱ニ至ル鐵道及本線ヨリ分岐シテ高知縣下須崎ニ至ル鐵道

一 香川縣下高松ヨリ前項ノ線路ニ接續スル鐵道

第二章第七條十一項ノ下ニ左ノ八項ヲ加フ

一 四國線定線ノ内德島縣下德島ヨリ高知縣下高知愛媛縣下松山ヲ經テ八幡濱ニ至ル鐵道及本線ヨリ分岐シテ高知縣下須崎ニ至ル鐵道

一 九州線定線ノ内宮崎縣下細島ヨリ宮崎ヲ經テ鹿兒島縣下鹿兒島ニ至ル鐵道

一 山陰線定線ノ内京都府下舞鶴ヨリ兵庫縣下豐岡ヲ經テ鳥取縣下鳥取ニ至ル鐵道及同縣下米子ヨリ島根縣下松江ニ至ル鐵道

一 北陸北越聯絡線定線ノ内富山縣下富山ヨリ新潟縣下直江津ニ至ル鐵道

一 羽越線定線ノ内新潟縣下新發田ヨリ山形縣下米澤ニ至ル鐵道

一 奥羽線定線ノ内岩手縣下黑澤尻若ハ花巻ヨリ秋田縣下横手ニ至ル鐵道

一 總武線定線ノ内千葉縣下千葉ヨリ木更津ニ至ル鐵道

一 中央線定線ノ内山梨縣下甲府ヨリ静岡縣下岩淵ニ至ル鐵道

第八條中「十二箇年」ヲ「十五箇年」ニ改ム

第九條中「金六千萬圓」ヲ「金壹億參千萬圓」ニ「十二箇年」ヲ「十五箇年」ニ改ム

○山脇玄君 私ハ此議事日程ニ掲ゲデアリマス鐵道敷設法中改正法律案ヲ此議事日程ヨリ削除セラレンコトノ動議ヲ提出致シマス、其理由ハ貴族院規則第六十二條ニ斯様ニゴザイマス、衆議院ニ於テ既ニ會議ニ付シタル議案ト同

一ナル事件ハ之ヲ議事日程ニ記載スルコトヲ得ス」斯ウ云フ明文ガ貴族院ノ議事規則ニアリマス、デ唯今衆議院ニ於テハ先ニ政府カラ提出ニナリマシタ鐵道敷設法ノ改正法案ガ會議ニ掛ッテ居ルノデアリマス、デ此日程ノ第四ノ鐵道敷設法中ノ改正法律案ハ即チ唯今衆議院ノ會議ニナッテ居リマスル鐵道敷設法改正案ト同一ノ事件デアリマス、デ若シ果シテ同一事件デアッタナラバドウシテモ此議事規則ニ依リマシテ、今日ハ此議事日程ヨリ削除ヲ致サネバナリマセヌ、唯此所ニ一ツ疑ノアリマスノハ、愈々是ガ同一事デアルヤ否ヤト云フ一ツ此所ニ疑ガアリマスルガ、本員ノ認メマスル所デハ、是ハ同一事件デアルト認メマス、デ之ヲ他ノ例デ申シマスレバ例ヘバ衆議院デ郡制ノ改正法律案ヲ議シテ居リマス、デ其郡制改正法律案ハ郡制中ノ或一部ノ改正デアルト假定致シマス、ソコデ貴族院デモ同シ事ノ郡制改正法律案ヲ出シマシテ、是ハ衆議院ヨリハ違ッタ箇條ヲ改正シヤウト云フ案ガ出テ居ルト假定致シマス、此場合デハ如何デアリマセウカ、矢張衆議院デハ郡制全體ノ中ヨリシテ或箇條ヲ改正スルト云フ必要ガアッテ出シマシタノデアリマス、貴族院デモ矢張郡制全體ノ中ヨリシテ或箇條ノ改正ヲ必要ト見テ出シタモノデアリマス、デ其箇條ハ異ッテモ均シク郡制ト云フ一ノ法律ノ改正デアリマスレバ、ドウシテモ之ヲ同一事件ト認メナケレバナラヌト思ヒマス、デ之ヲ同一事件ト見マセヌト云コト、雙方デ同シ改正ヲ議シ、衆議院ハ貴族院ニ廻シ、貴族院ハ衆議院ニ廻シテ、終ニ雙方ノ意思ノ歸一スルト云フコトガドウシテモナクシテ非常ナ錯雜ナ結果ヲ惹起シマス、デ此錯雜ナル結果ヲ避ケルタメニ即チ貴族院規則第六十二條ガ有ルニ相違ナカラウト信ジマスニ依ッテ本日ハ此議事日程ノ第四ハ削除セラレンコトノ動議ヲ提出致シマス

○箕作麟祥君 唯今ノ山脇君ノ動議ニ贊成デゴザイマスガ少シ贊成スルニ就キマシテ山脇君ノ言ハレタノヲ補足致シタイ事ガゴザイマスガ、宜シウゴザイマスガ

○副議長(侯爵黒田長成君) 宜シウゴザイマス

(箕作麟祥君演壇ニ登ル)

○箕作麟祥君 私ハ今日ノ議事日程第四鐵道敷設法中改正法律案第一讀會トアリマスル此議事日程、竝ニ第五ノ右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、是ハ山脇君ハ明言セラレマセナダガ、四ガ無クナレバ無論五モ無クナルト云フ結果ニ爲リマセウト思ヒマスデ、即チ此二ノモノヲ削ルト云フコトニ贊成ヲ致ス者デアリマス、唯今山脇君ガ郡制トカ云フ假ニ例ヲ設ケラレテ辯明セラレマシテ、即チ同一事件デアルト云フコトヲ言ハレマシタデ滿場諸君モ大抵御分リトハ存ジマスガ、尙ネ最モ明白ナ同一事件タル所ノ證據ヲ擧ゲマシテ、諸君ノ御參考ニ供サウト存ジマス、定メシ諸君モ御承知デゴザイ

マセウガ、政府ヨリ豫テ鐵道敷設法中改正法律案ト云フモノヲ衆議院ニ提出ニナッテ、即チ一月ノ十日附ヲ以テ衆議院ニ提出ニナッタノデアアル、ソレニ衆議院ガ修正ヲ加ヘマシテ、サウシテ此貴族院ヘ廻ッテ參ッタノデアリマス、所デ貴族院ノ特別委員會ニ於テ衆議院カラ廻ッテ參ッタ案ニ更ニ修正ヲ加ヘマシテ此議場モ即チ委員會ノ通ニ可決シテ衆議院ニ回付致シマシタ所ガ、衆議院ニ於テハ貴族院ノ修正ニ同意ヲ致シマセヌノデ其同意ヲ致シマセヌ理由ハマア色々アリマスガ、或ハ憲法違反ノ所爲デアルトカ何トカ色々トアリマシガ兎ニ角同意ヲシナカッタ、同意ヲシナカッタタメニ過日兩院協議會ヲ開キマシタコトガアリマス、兩院協議會ヲ開キマシタ末、マダ何レトモ決セズニ居リマスルノデ、衆議院デモ本議ヲ開カズ貴族院デモ尙ホ更本議ハマダ開キマセヌ、即チ政府ヨリ提出ニナッタ鐵道敷設法中改正法律案ト云フモノハマダ未決デアアル、帝國議會ニ於テ未決ノ案ガ一ツ有ル、然ルニ此度今日ノ議事日程第四ニアル所ノ鐵道敷設法中改正法律案ト云フモノヲ今度ハ衆議院カラ新規ニ提出シテ來タ、即チ唯今書記官ガ朗讀ニナリマシタ通憲法ノ第三十八條ノ議會ノ發案權ヲ以テ、政府カラ提出シタノトハ別ノ改正案ヲ出シタ、同シ鐵道敷設法中ノ改正案デアリマスガ、政府提出ノト違ッタノヲ衆議院ガ自ラ發案シテ當院ニ廻ハシテ來タ、是ガ今日ノ議題ト爲ッタモノデアアル、故ニ同シ明治二十四年ノ法律第四號デアリマシタカ、同シ鐵道敷設法ノ改正案ガ此議會ニ二ツ有リマス、二ツ有リマスルガ政府ノ出シマシテ改正シヤウト云フ條項ト今度衆議院ガ新規ニ發案シテ改正シヤウト云フ所ノ條項ハ違ッタ所ガアリマス、別ナ箇條ガ多イ、多イガ併ナガラ最モ著シイ同一事件デアルト云フ證據ヲ諸君ニ御覽ニ入レマセウト存ジマス、其譯ハ政府カラ提出ニナリマシタ案ノハ此鐵道敷設法ノ第九條中金六千萬圓ト現行法ニアルノデゴザイマス、即チ現在ノ法律ニ六千萬圓トアル、即チ此六千萬圓ハ鐵道ヲ作ルタメニ公債ヲ募ル額、ソレヲ六千八百萬圓ニ改メルト云フ政府ノ改正案デアッタ、之ヲ衆議院ハ八千七百七十七萬圓トシテ百萬圓減シマシタ、即チ現在アル所ノ鐵道敷設法第九條ノ中六千萬圓トアルノヲ衆議院ハ六千七百七十七萬圓トシテ政府案ヲ修正シテ參ッタ、所ガ此度提出ニナッタ、即チ今日ノ議事日程第四ニアル衆議院提出ノ鐵道敷設法中改正法律案ト云フモノヲ見マス、同第九條ニ金六千萬圓トアルノヲ金一億三千万圓ニ改ムト云フコトガ書イテアリマス、サウスルト妙ナ事ニナル、同シ九條デアリナガラ政府カラ提出ニナッデ衆議院デ修正シテ此貴族院ニ廻ハシテヨコシタノハ金六千七百七十七萬圓トアルト思フト、今度ハ衆議院ガ發案權ヲ以テ貴族院ニ廻シタ案ニハ一億三千万圓トナッテ居ル、同シ第九條ト云フモノガ二ツニ爲ッテ居ル、斯ウ云フマア結果デアリマスルカラ此一ツノ的切ナル例ヲ以テモ先程申シタ通即チ山

協君ノ言ハレル通如何ニモ貴族院規則第六十二條ニ謂フ所ノ同一ナル事件ト云フコトニ相違ナイ、即チ先ニ政府カラ提出シテ衆議院ノ會議ニ付シテ修正ヲ加ヘテ貴族院ヘ廻シテヨコシテ協議會ヲ開イテ其協議會ノ結果ハ何トモ決シナイ、其議案ハ會議ニ付シテアル所ノ議案デ、ソレト同一ナル議案デ九條中申シマスルト誠ニ能ク分ル、同シ九條中ニ六千万圓ヲ六千七百万圓トシ又一億三千万圓トシテアル、即チ同一事件ナルコトハ最モ明白ナル徵ト考ヘマス、ソレデ同一ナル事件ヲ此議事日程ニ記載スルコトヲ得ズ、丁度絶對のニ禁ジテアル、ソレヲ今日ノ議事日程ニ掲ゲルト云フコトニナリマシテハ貴族院規則ト云フモノニ背カウト考ヘマスカラドウゾ此山脇君ノ動議ヲ御贊成ニナツテ、今日ノ議事日程ノ第四第五ノ議事日程ヨリ御削除アラントヲ希望致シマス

○村田保君 本員モ先程山脇君カラ述ベマシタ如ク贊成シマス、又極尤ノコトニ存ジマス、尙ホ又案作君カラ致シテ同一事件ト云フコトヲ詳シク述ベラレマシタ、本員杯モ是ハ同一事件ト思フ、然ル所此今日ノ議事日程ト云フモノハ議長カラ是ハ御差出ニナツタコトデゴザイマスカラ議長席ニ於キマシテ本院規則ニ背イテ御出シニナルコトハ出來マスマイ、若シ御出シニナリマスレバ議長自ラ本院ノ規則ニ背クト云フ事ニ爲リマス、ソレデ斯ウ云フ事ヲ議場デ議シテサウシテ之ヲ撤回スルト云フコトハ甚ダ面白クナイ、隨分弘法ニモ筆ノ誤ト云フ警モアリマシテ又隨分議長ノ御手許ニモ誤ト云フコトハアリマス、ドウゾ是ハ議長カラシテ今日ノ議事日程ノ第四ト云フモノハ撤回スルト云フコトヲ御一言下サレバソレデ宜シト思ヒマス、ドウゾ之ヲ議場ノ多數決ニスルト云フコトハ甚ダ面白クアリマセヌカラ、ソレダケ一言議長ニ御忠告ヲ致シマス

○山脇玄君 本員ノ動議ハ大分贊成ガ有リマス、唯今村田君カラ議長ニ御忠告ニナリマシタガ、ソレハ私ハソレニハ及ブマイト思フ、何ゼナレバ此議事ノ疑問ト云フモノハ議長ガ御決シニナルノガ正則デアル、併ナガラ此規則ニ就イテ疑ガアレバ議長ハ矢張一應ハ此院議定メニナルノガ相當ノ手續デアラウト思フ、ソレデ唯今ノ問題ノ如キハ議長ニ於テモ自ラ決スルコトガ出來ズシテ議事日程ニ載セテ即チ議場ノ衆議ヲ御諮ヒニナル手續ダラウト思ヒマスカラ、是ハ相當ノ事デアラウト思ヒマスニ依ツテ、諸君モ愈々之ガ同一事件デアアルヤ否ヤト云フコトヲ御考ヘニナツテ同一事件デアルト云フナレバ、即チ此動議ヲ成リ立セテ之ヲ議事日程カラ削除スルコト、思ヒマスカラ、村田君ノ御注意ハ却ツテ其宜シキヲ得ヌコトデハナイカト思ヒマス

○男爵邊渡清君 本員モ無論同一事件ト見マス、所ガ議事日程ヲ削除スル之モ贊成デゴザイマス、ガ贊成シタバカリデ是ハ事濟ムコトデハアルマイト思

フ、到底意見ヲ附シテ衆議院ヘ返サニヤアナルマイト思ヒマス、ソレデ削除スルト云フコトハ今山脇君ノ論ノヤウニ何モ其議場デ各員ノ意見ニ依ツテ削除スルモ妨ハナイト云フコトデアリマスガ、本員モサウ思ヒマス

○男爵西五辻文伸君 山脇君ニ贊成

○子爵曾我新準君 本員モ固ヨリ山脇君及案作君ノ御論ニ全ク贊成ヲ致シマス、唯今村田君ヨリ撤回論ガ出マシタガ……議長ヨリ御撤回ナス……タガ宜カラウト云フ勸告の御議論ガ出マシタ、成程サウナツテモ支ヘヌヤウデアアルガ、村田君ノ御説ノ通議長自ラ御引キニナツテモ支ヘヌヤウデアアルケレドモ、今山脇君ガ更ニ辯ゼラレタ通斯ウ云フ事ハ議場一體ノモノデアリマスカラ、議場ノ多數ノ意見ガ同一事件ナリ貴族院規則ニ背クモノナリト認メマスレバソレヲ以テ削除致シマスルコトハ何モ差支ナイト思ヒマスカラ、矢張決ヲ御採リナスツテ、其採決ノ結果ニ依ツテ削除セラルベキモノナラバ削除スルコトニ御極メニナツテ何モ差支ナイト思ヒマスルデ山脇君ノ論ヲ贊ケマレテ一言申シテ置キマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 山脇君ヨリ本日ノ議事日程第四ノ法律案ハ貴族院規則ノ第六十二條ニ據ツテ衆議院ニ於テ既ニ會議ニ付シタル議案ト同一ナル事件デアアルニ依ツテ議事日程ニ記載スベキモノデナイ、ソレデ本日ハ議事日程ヨリ之ヲ削除致シタイ、斯様ナ動議デゴザイマス其動議ニハ贊成者モ段ゴザイマスカラ決ヲ採リマス、山脇君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数デゴザイマス就キマシテハ議事日程第四ハ勿論削除致シマスガ、第五モ當然ノ結果トシテ削除ニ相成リマス、次ニ集會及政社法中刪除法律案、衆議院提出第一讀會ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

集會及政社法中刪除法律案

右憲法第三十八條ニ依リ貴院ニ提出候也

明治二十九年三月六日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

明治二十六年法律第十四號集會及政社法中第二十六條及第三十三條ヲ刪除シ第三十四條中第二十九條トアルヲ第二十八條ト改メ第二十七條以下順次繰上ク

○伯爵萬里小路通房君 本員ハ少シ此案ニ質問ガアリマス、政社法「三十四條中二十九條トアルヲ二十八條ト改メ二十七條以下順次繰上ク」トナツテゴザイマスガ、此現行法ヲ見マスルト即チ此三十四條ニ「第二十九條ノ禁止ノ命令ニ從ハスシテ仍結社ノ實アル者ハ一月以上六月以下ノ輕禁錮云云」ト云フコトニナツテ居リマスガ、此即チ衆議院ノ案ノ如ク第三十四條中二十九條ハ二十八條ニ改メルト云フト、二十八條ハ何ダト云フト「政社ニシテ支社ヲ設クルトキハ總テ政社ノ規定ニ依ル」ト云フダケシカ無イ、之ヲ改メテ此處デ載セルト云フハドウ云フ意味デアリマスカ、此事ハ政府委員ニ聞イタラ知ツテ居リマセウカラ一應……

○箕作麟祥君 ドウモ唯今ノ御質問ノ點ハ能ク分ツテ居ルヤウデアリマスルガ、是ハ衆議院カラ提出ノ案デアリマススカラ政府委員ガ答辯ヲスル義務ハアリマスマイ、私モ亦固ヨリ答辯ヲスル譯デアリマセマスガ、第二十六條ヲ削リマシタカラ前ノ方ガ自然一條減ツテ仕舞ッタノデ、誠ニ分リ切ッタ話デ二十六條ガ無クナレバ順ニ繰上ツテ來ルノハ當然デ誠ニ知レ切ッタコトデアアルヤウニ思ヒマスガソレデモ御疑ガアルノデゴザイマスカ

○伯爵萬里小路通房君 ソレデハ今ノヲ取消シマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 別ニ御發議ガゴザイマセヌニ依ッテ本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵林友幸君 此選舉ハ議長ニ御委託致シマス、九人ノ委員ヲ……

○男爵中川與長君 贊成

○子爵板倉勝達君 贊成

○副議長(侯爵黑田長成君) 林子爵ヨリ本案ノ特別委員ノ選舉ハ議長ニ一任スルト云フ動議、此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数デゴザイマス、次ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則法律案、本院提出、衆議院回付ノ會議ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則

第五條 恩給ヲ受クル者郡區書記ニ任用セラレタルトキハ其ノ間恩給ヲ停止ス

○子爵林友幸君 此官吏恩給法ハ衆議院カラ廻リマシタ修正案ハ至當ノ事ト思フテ居リマス、私ハ是デ贊成ヲ致シマス

○子爵曾我祐準君 元來是ハ貴族院カラ出タ案デゴザイマスルガ、此提出者ノ御方モ此席ニ在ラレヤウカト思ヒマスガ提出者ノ御主意ニ於テモ此衆議院ノ修正ハ決シテ相背カヌデアラウト思ヒマス、今林子爵モ贊成ノ意ヲ表セラレマシタガ本員等モ衆議院ノ修正ノ通ニナツテ至極宜シイト思ヒマスガ、併ナガラ幸ニ提出者ガ居ラレマシテ提出者ニシテ之ニ異議ガアルナラバ承リタウゴザイマスガ、異議ガナケレバ最モ贊成ヲ致シマス

○柴原和君 本員ハ即チ官吏恩給法ノ提出者デゴザイマスガ、唯今曾我子爵カラ言ハレル通本員モ衆議院ノ修正ヲ最モ宜シイト存ジマス、ト申シマスルモノハ二重ニ取ルコトヲ致サセヌト云フコトデ、是ハ至極確メ置キマシテ宜シイト思ヒマスカラ無論贊成ヲ致シマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 他ニ御發議ガゴザイマセネバ表決ニ付シマス、衆議院ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数デゴザイマス、依ッテ衆議院ノ修正ニ同意ヲ與フルコトニ決シマス、明日ハ休會致シマシテ明後日議事ヲ開キマス、議事日程ヲ御報告申シマス、午前十時開議、第一、登錄稅法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第二、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第三、葉烟草專賣法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第四、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第五、開港外ニ於テ外國貿易ノ爲メ船舶出入及貨物輸出入ノ件ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第六、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第七、衆議院議員選舉法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、第八、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、本日ハ散會

午後零時六分散會

